

## 基本情報



【年 齢】  
35歳  
【出身地】  
北海道 札幌市  
【転出元】  
北海道 札幌市  
【前 職】  
イタリア語講師  
【活動時期】  
R3.10.1～  
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

ウポポイを見学しに白老町を訪れた時、白老の町の美しさや人の優しさに魅了された。もともと、都会ではなく自然の多い場所に暮らして子育てしたいと思っていたので、白老町で働くことができないか調べたところ、地域おこし協力隊の募集を見つけた。白老町は実家である札幌とのアクセスも良く、移住のストレスが少ないと感じた。また、家賃が安く、将来的に畑などを作るのにも土地が比較的手に入りやすいだろうと考えた。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は与えられた活動費を使いながら、白老町のアイヌ文化振興に役立てていく。そのために、4つのアプローチを考えている。①白老町民に向けて白老アイヌ協会などの活動を知ってもらうこと ②白老町外で白老アイヌ伝統工芸品を売る仕組み作り ③次世代を担う子供に向けた教育活動 ④町外や海外からの研修の受け入れ  
任期後は、マンガで体験を発信していきたい。

## 活動内容

## ●次世代を担う子供へのアプローチ

地域の子供たちと町内のアイヌ文化に触れられるスポットを訪れる試みを1ヶ月に一回行っている。また、保育園や子育て支援センター等でのアイヌ絵本の読み聞かせ会やユカラの披露などを伝承者に依頼して開催している。今後は、子供向けコンサートや上映会も企画していく。



## ●白老のアイヌ文化を紹介するウェブサイト構築

白老の伝承者に聞き取りを行ったり、アイヌ文化を体験できる店舗などを取材したりしながら、ウェブサイトに掲載してSNSも用いながら白老町外に発信している。この内容をもとに、白老のアイヌ文化を伝承する人や活動を紹介する冊子と地図を作る予定。



## ●研修受け入れ・アイヌ文化体験の案内

ウェブサイトやSNSをきっかけに、研修や体験の申し込みがあった。中国人留学生1名、名古屋の大学生3名、札幌の大学生3名、札幌のアメリカ人大学院生1名、沖縄からの旅行者1名、群馬からの旅行者1名の体験や研修の案内をし、海外からも問い合わせを受けている。



## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログ】  
(タント・タタ・シラオイ) <https://shiraoi-ainu.site> (インスタグラム、フェイスブック、ツイッター、ユーチューブ) @tanto.tanta.shiraoi